

江戸三大祭

深川八幡祭 能 奉納

令和6年8月14日(水) 午後5時

第一部 午後5時

能楽愛好者による発表

第二部 午後5時45分

能楽師による奉納

能 小袖曾我

曾我十郎 桑田潤之介

曾我五郎 桑田大志郎



「小袖曾我」桑田 貴志 / 撮影 吉越 研

富岡八幡宮境内 特設神楽殿 〒135-0047 江東区富岡 1-20-3

東西線・大江戸線「門前仲町」1番出口より徒歩3分

お問い合わせ

深川能舞台 桑田貴志

☎ 03-3643-0891

【入場無料】

深川八幡祭 能奉納

令和6年8月14日(水) 午後5時

富岡八幡宮境内 特設神楽殿

(雨天時、富岡八幡宮 本殿)

東西線・大江戸線「門前仲町」1番出口より徒歩3分

番組

能楽愛好者による「仕舞」・「連吟」奉納

仕舞 船弁慶 桑田 貴志

曾我五郎 桑田 大志郎
曾我十郎 桑田 潤之介

能 小袖曾我

大鼓 柿原 孝則
小鼓 田邊 恭資

笛 藤田 貴寛

地謡

桑田 貴志
永島 充
坂 真太郎

午後6時15分頃 終演予定

席に限りがあり、満席の場合は立ち見となります。ご了承下さい。
上演中の写真撮影、録音、携帯電話等の使用は禁止いたします。

能「小袖曾我」

曾我十郎祐成・五郎時致の兄弟は、父の仇敵・工藤祐経を富士の巻狩にて討つことを決心し、その前に母のところに時致の勘当を許してもらいに行く。しかし、喜んで迎入れられた祐成に対し、時致は会うことすら叶わない。祐成は時致の勘当を許してもらおうと、母に頼むが取り合ってもらえない。泣きながら去る兄弟の姿に、母は心を動かされ時致の勘当を許す。兄弟は喜びの酒を酌み交わし、門出を祝って舞を舞う。



観世流能楽師 桑田貴志

重要無形文化財総合認定 保持者

1971年生。観世九臈会 当主 観世喜之に師事。全国各地にて、年間120ほどの舞台に立つ。2009年「道成寺」、2018年「望月」、2019年「安宅」披露。

深川に深川能舞台を構え、2009年より深川八幡祭にて「能奉納」を毎年行う。

「桑田貴志 能まつり」「能楽サロン」主宰。自宅舞台・深川能舞台にて、謡曲仕舞教室「茉莉会」主宰。東京(深川/銀座/町田)・浦安・静岡県内にて指導する。

シンガポールの演劇学校(ITI)能楽講師。香港の演劇スタジオ(流白之間)にて能楽指導。

桑田潤之介
桑田大志郎

桑田貴志長男。2006年生。3歳の時、仕舞「老松」にて初舞台。「深川八幡祭 能奉納」には幼少時より出演。

桑田貴志次男。2007年生。5歳の時、仕舞「老松」にて初舞台。「深川八幡祭 能奉納」には幼少時より出演。